



6 月 号

平成 29 年 6 月 23 日

桜花爛漫

郷土を舞台に 夢に向かい ともに歩む学校

心豊かで
たくましい庄川っ子

- ・考える子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子

いつまでも、通わせ続けたいと思う学校

校長 水口 悟

菖蒲華さく (あやめ はなさく 夏至・次候)

あやめが花を咲かせるころ。この花がさいたら、梅雨到来の目安でした。

(新暦では、およそ六月二十六日～三十日ごろ 日本の七十二候を楽しむより)

5月下旬、修学旅行から帰校された先生方から話を聞きました。奈良・大仏殿前で現地ガイドさんの説明に一生懸命に耳を傾けメモをとる姿を見て、外国の方が「wonderful!」と言われたそうです。また、京都・大仙院にて座禅体験を終え、お礼に歌った合唱を聴き、住職さんが大変感動されたそうです。学校における日常の姿が、初めて訪れた奈良京都の初めて出会う方々に受け入れられたことは、とても嬉しいことです。

6月に入り、高山市教育委員会の方々が授業等を参観して行かれました。多くの方々が、学校が美しい!「少人数であるにも関わらず、これだけきれいにしていることは素晴らしいこと」と評価されました。また、授業中の子どもの姿から、自分の言葉で庄川の魅力について語れる姿に、実にすばらしい感性が育まれている。子どもたちは、ふるさと庄川が大好きであり、ふるさとを思う感性や感受性の高さに驚かされたと言われました。

10日に行われたPTAによる親子ふれあい体操、楽しそうでした。終始、職員室まで家族のはしゃぐ声が聞こえてきました。インストラクターの方が「保護者同士のつながりの強い地域ですね」と、自分自身もとても充実感があつたことを話されました。そのつながりのすばらしさは、小雨の中における環境整備作業にも発揮され、校舎のまわりはすっかり美しくなりました。無理かと思っていた低学年教室前の花壇も、見違えるように変身しました。その後の懇親会は、言うまでもありません。こんなに楽しい時間はありません。

15日から1泊2日で乗鞍青少年交流の家に5年生が研修に出かけました。入所式から退所式までの全日程を朝日小学校の5年生とともに研修しました。登山、大声大会、じゃんけんゲーム等々、勝っても負けてもお互いにとっても刺激的でした。「庄川小のカレー、もらってもいいですか〜」お互いに作ったカレーを交換して、食べ比べました。嬉しそうに頬張っていました。学習や生活する場所、ともに活動する人間関係など、環境をガラリと変える体験や交流は、子どもたちの成長にとってとても大切だと感じました。

19日には、2年生が生活科の学習で町探検に出かけました。JA、消防署、銀花のみなさん、ありがとうございました。2年生の子どもたちとみなさんと一緒に撮った記念写真。子どもたちの笑顔を見守るみなさんの優しい表情が印象的でした。お父さん・お母さん、そのものでした。子どもたちは、地域のお父さんやお母さんに安心しきっていました。また、出かけます。宜しく願いいたします。

今、第21回目となる新島研修(海の子山の子交流会)に向け、準備が進んでいます。1年に1度、庄川の子どもたちが、長栄寺でお参りをし、上木甚兵衛さんのお墓と三島勘左衛門さんの自刻像に庄川のお水をかけ、お花を供えます。新島村教育委員会の方が、3日間の日程調整を進めてくださっています。また、新島小学校の校長先生から「1年が経つのは早いですね。心待ちにしています!」とお電話をいただきました。甚兵衛さんと勘左衛門さんは、どんなお気持ちで待っていらっしゃるのかと想像します。

子どもたちが下校した後の職員室では、第10回目となる小中合同運動会の取組に向け意見が交わされています。庄川の保小中一貫教育を支えるとても仲のよい同僚性の高い先生方です。庄川の子育て・教育は、文化だと思います。

「庄川の豊かな自然と文化と教育に誇りを持ち、いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」に、みなさんとともに向かっていきたいと思っています。